

1. 本園の目指す幼児像

- ・遊びを通した総合的な活動の中で教師や友達との充実な関わりを持ちながら、心情・意欲・態度を育てる
- ・自然と豊かにかかわる体験を通し、考えたり言葉を伝え合いながら豊かな感性と人間関係の構築をはかる

2. 本年度の重点的に取り組む目標・表内縦書き赤字

3. 評価項目の達成および取り組み状況

重点目標	評価項目	評価指標及び評価結果						コメント	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果	総括評価	評価結果に関する説明・意見書
① 幼児との信頼関係の構築	幼児一人一人と丁寧に関わる（幼児理解を深める）	4	幼児と関わり、その思いや変化に気づき、その子にあった援助を考える	3.3	4	（多くの幼児が）自分の思いを言葉で伝えるとともに教師や友だちの話も興味をもって聞くようになった	3.6	A3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価結果から一人ひとりに丁寧に関わる姿勢はどの教職員も大切に考え実践できている。その表れとして多くの幼児が自分の思いをきちんと教師に伝えられるようになり、その経験から教師だけではなく友達同士でも伝える楽しさや喜びを実感している姿が見られた。しかし、相手の話に興味を持って聞こうとする幼児はまだ多くはない。サークルトークなどの経験を豊富にし、互いのことに興味を示し対話できるように見守っていきたい。</li> </ul>
		3	幼児との関わりを振り返り、その思いや変化に気づくようにする		3	（多くの幼児が）自分の思いを教師に言葉で伝えようとするようになった			
		2	幼児一人一人の関わりは対話や時間にあまり偏りがないようにする		2	（多くの幼児が）幼稚園の環境に慣れ、安心して園生活を送れるようになった			
		1	幼児と楽しくおしゃべりをする		1	まだ不安そうな幼児の姿も見られる			
	幼児一人一人と温かな人間関係を築く（人間関係を深める）	4	それぞれが好きな遊びに取り組めるような環境を準備し、友だち同士が繋がる言葉がけをしている	2.8	4	トラブルがあると自分たちで解決しようとするようになった	3.2	A3	
		3	幼児の遊ぶ姿から今、必要だと感じる環境構成を準備している		3	自分のことだけではなく友だちが困っていることや、周りの状況を話してくれるようになった			
		2	一人一人の好きな遊びが理解できる		2	教師には自分の思いや家での出来事を話してくれるようになった			
		1	幼児と楽しく遊んでいる		1	まだ自分を出せないでいる幼児が見られる			
② 保護者と幼児の育ちを共有する	保護者と幼児の育ちを共有する	1	保護者に情報を発信し、保護者の意見も聞くようにしている	0.8	1	保護者が幼児の相談をしてくるようになった	0.8	A0.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園バスでお会いする保護者には、クラスの子ども以外のことでけがの伝達その他、ちょっとしたエピソードを話す様に努めた。始め消極的で笑顔が見られなかった保護者も心を開いて下さる様になり、子育ての悩みを話して下さるようになった。</li> <li>・けがをした時は家に帰る前に報告を済ませ、保護者に安心していただけるように努めた。園バスでお会いしたり、お迎えで会う保護者とは、お話する機会が多かった。</li> </ul>
		1	どの保護者とも親しく接し隔たりなく関わっている		1	幼児の成長や家庭での様子を話してくるようになった			
		1	保護者に会った時は積極的に挨拶をし、園での様子を話すようにしている		1	保護者が園や担任に協力的になった			
		1	保護者と積極的にコミュニケーションをはかっている		1	子どもを通して保護者も生き生きとした感じを受けた			

取り組と成果に関する評価結果

- A: とても良い
- B: まあまあ良い
- C: 普通
- D: 良くない(要検討)

○ 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>今回の自己評価から目指していきたい姿が更に明確となった。重点目標は下上津役幼稚園が今後においても最も大切にしていきたいと考えている目標であり、園長の思いが職員一人ひとりにきちんと浸透していることが実感できる評価となった。しかし、幼児の環境構成においては遊び込める幼児の姿を大切に、もっと遊びを展開できるように教師がその子が求めたいことを理解し想定した準備や工夫を行うことが課題であると感じた。</p> <p>今後、取り組んでいきたい課題としては、「教職員」の働き方改革を挙げたい。今後において産休や育休後も安心して務めることのできる職場環境は、経験を積んだ職員が継続して自己能力を発揮でき、幼児教育への一層の前進につながると考えている。</p>

○ 今後、取り組む重点的課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教職員の働き方改革	園業務の効率化と、就業時間の適正化
2	子どもの人権を大切にする保育	幼児と過ごす、より良い生活の見直しと関わり方
3	同僚性の育み	改善点を互いに言い合うことが出来たり、認めあえる関係性の構築

○ 学校関係者評価委員会の評価 委員会実施日 令和 5年 3月 28日

今年度は「SDGsの取り組み」の他、「生命（いのち）の安全教育」にも力を入れ取り組んでおられる事に感心しました。時代は変化しSNSが、ごく当たり前になっています。子どもを取り巻く環境も変様しています。いち早く、子どもたちが守られるように努力されておられました。

また、幼児一人ひとりに丁寧に関わる園の姿は園長先生の思いが、他先生方にきちんと浸透しており、安心感が持てます。これからも安全安心な園をぜひ、継続されていってください。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員